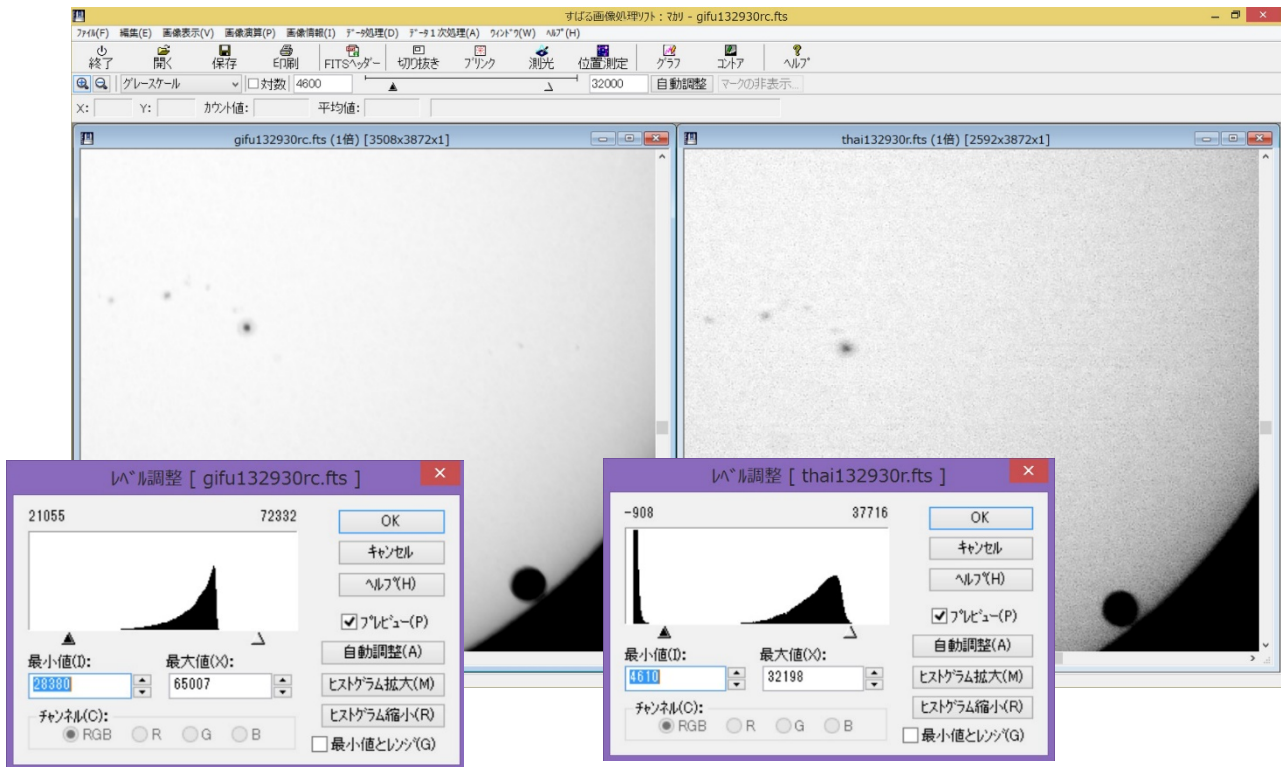


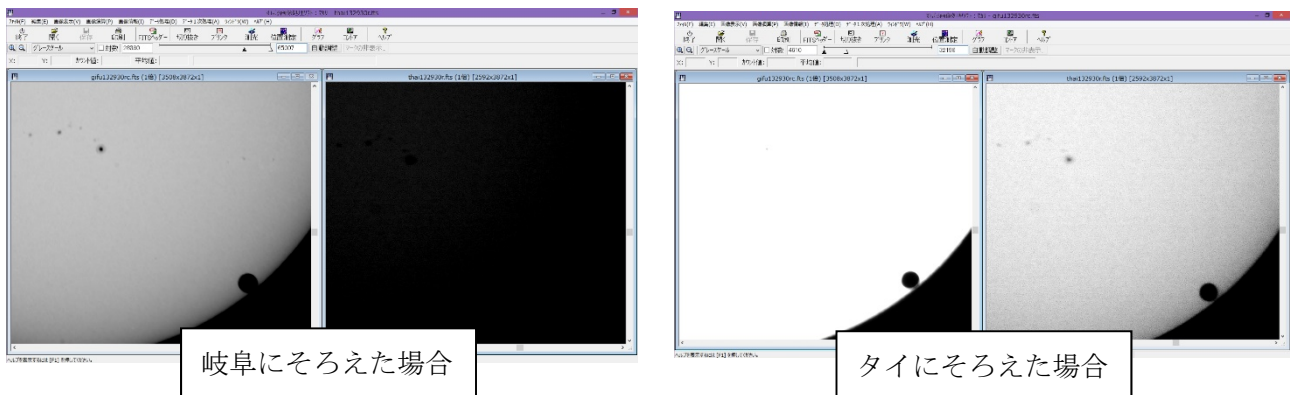
## コンポジットを行う前に

マカリでのコンポジットの方法については、加算、減算、乗算、除算であれば画像演算の機能を使用し重ね合わせのプレビュー画像を見ながら位置合わせをすることができる。また、加算平均はバッチ処理での演算で行う事ができる。

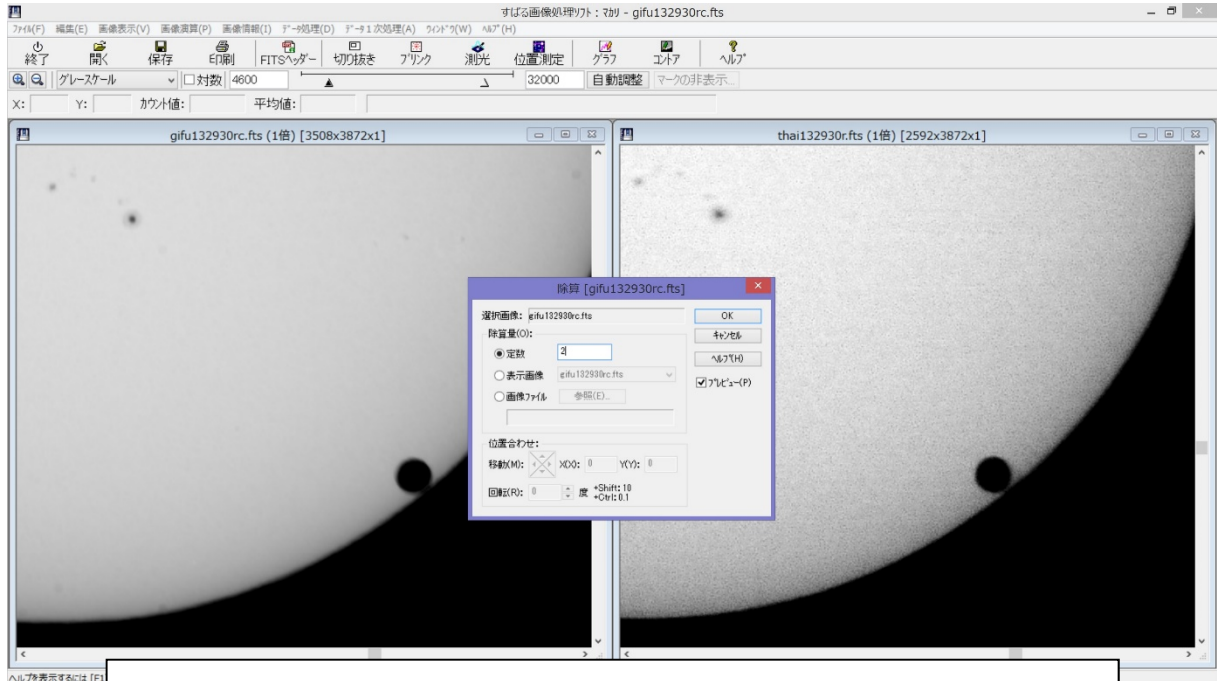
マカリで画像を開くと自動レベル調整が働き、比較の見やすい画像となる。しかし、コンポジットする際は2つの画像のレベルを確認し、場合によってはカウント値の調整を行った後に画像合成の演算作業を行わないと不都合が生じる場合がある。



実際に、岐阜の画像あるいはタイの画像に表示レベルのみをそろえて比較してみると次のようになる。



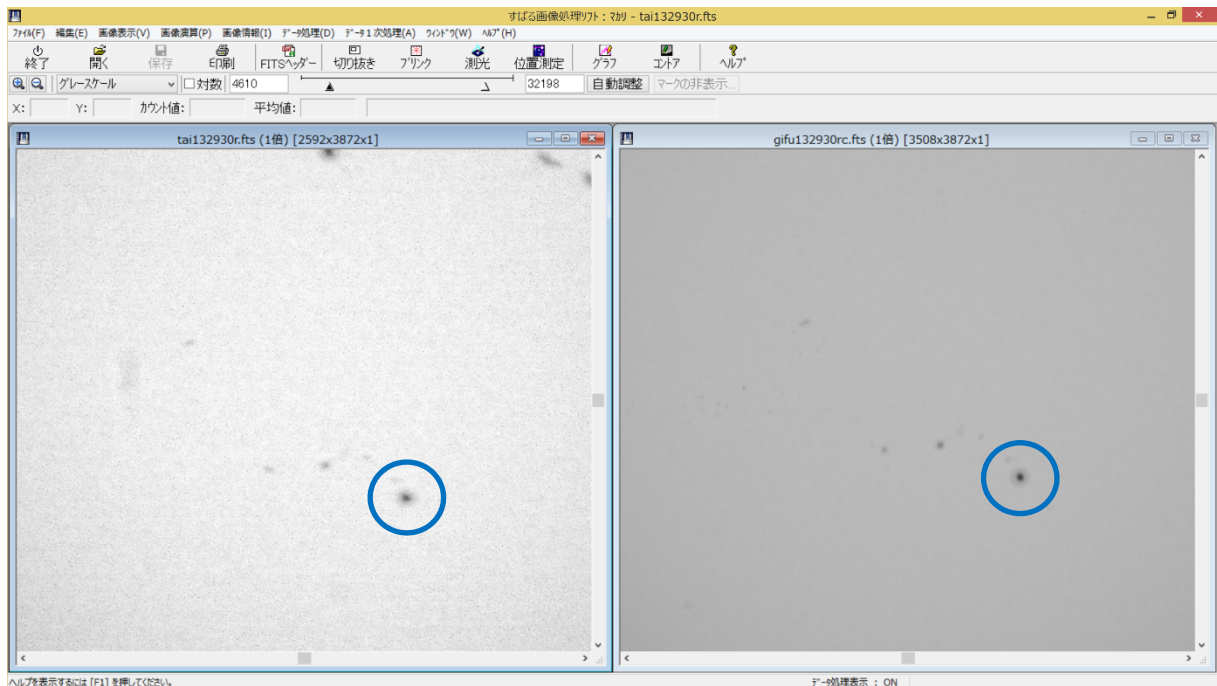
このような状態のままコンポジット作業を行っても一方の画像の情報はつぶれてしまうため、どちらかの画像のカウント値を調整する作業を行う。



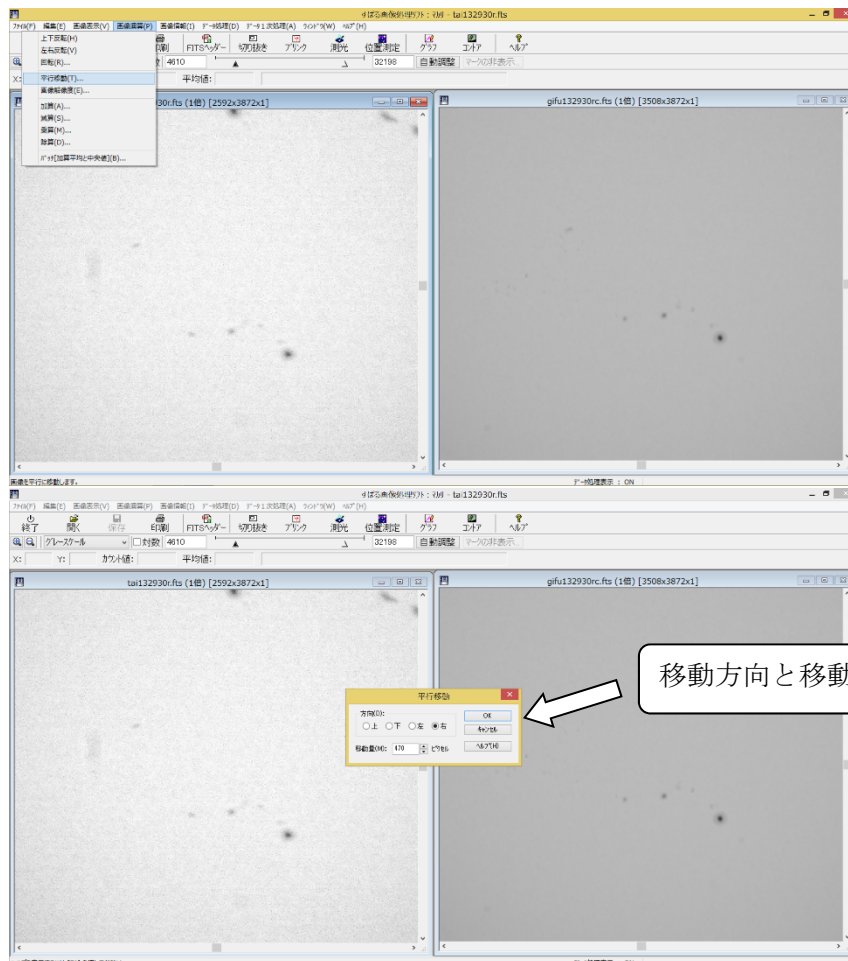
コンポジットする2つの画像の表示レベルをそろえたのち、プレビューを見ながら調整したい方の画像の実数演算を行い、カウント値を変更する

変更後の2つの画像を必要に応じて、合成作業を行う。

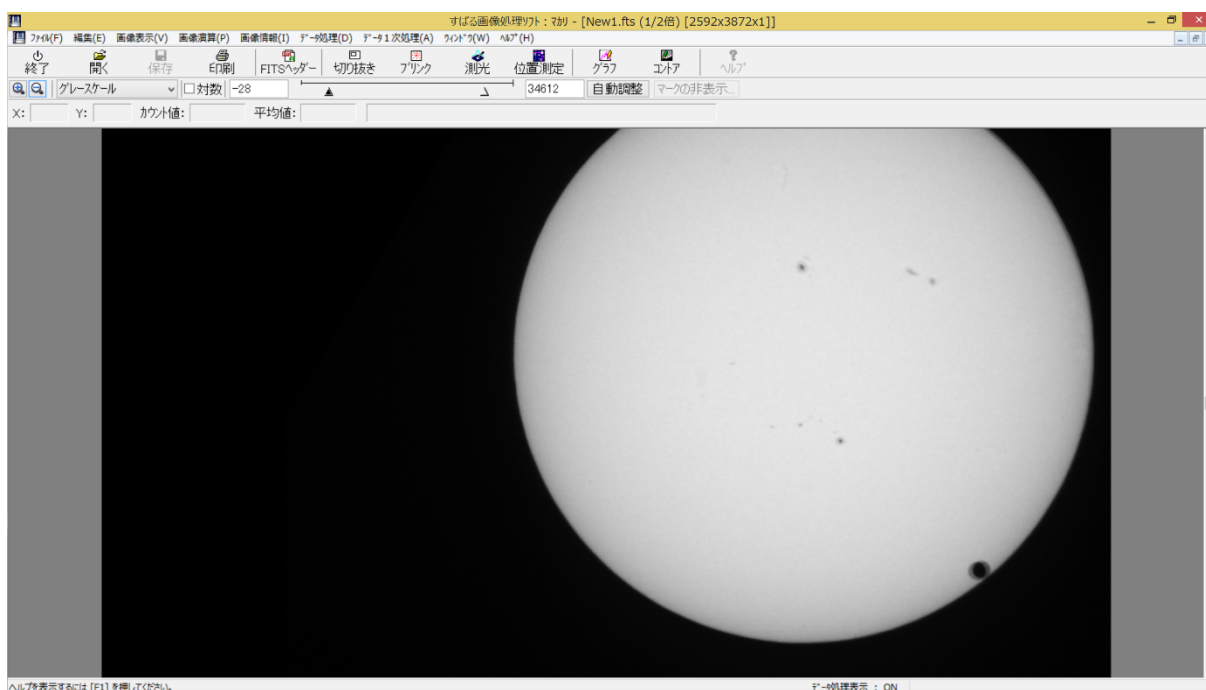
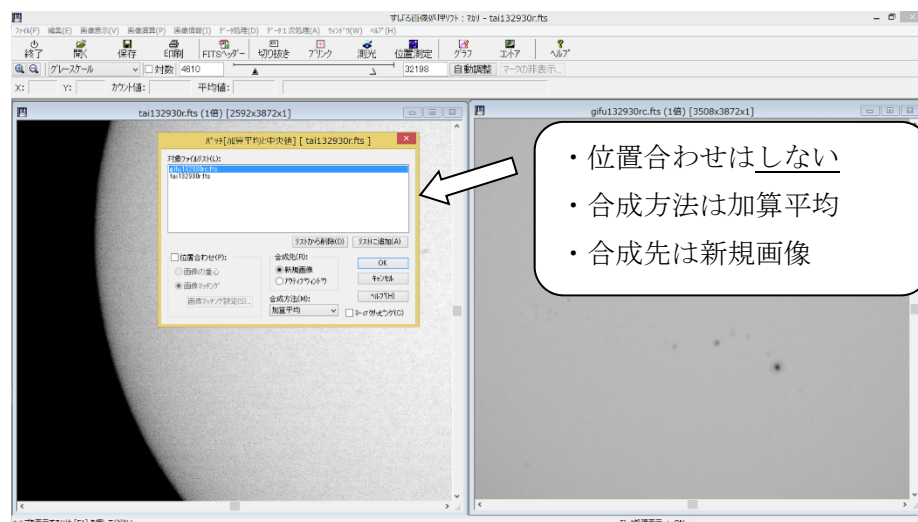
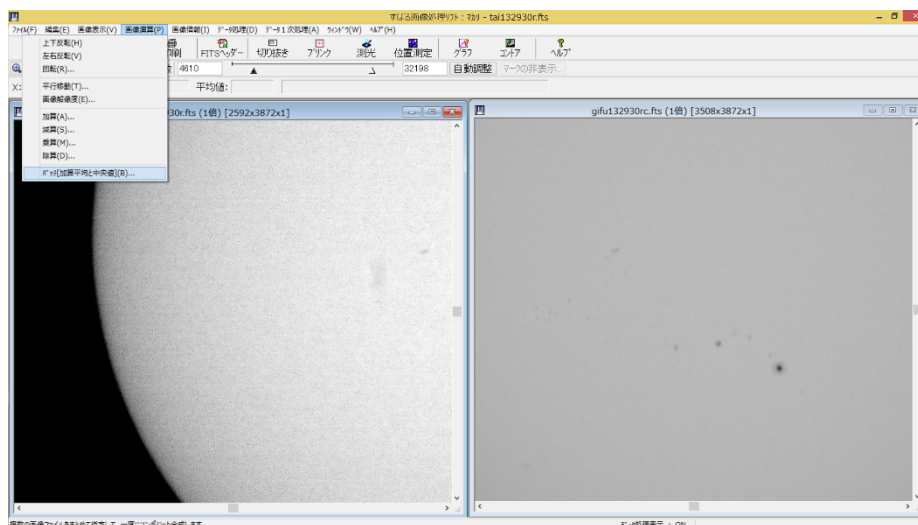
## コンポジットの方法1（基準のポイントの座標をそろえる）



○で囲まれた黒点の座標を求めると、thai(1429, 1810) gifu(1899, 1837)であったとする。thaiの画像を移動（shift）させ画像を揃えるために必要な移動量は  $x=470, y=27$  であるので、「マカリ」の画像演算ツールの平行移動を利用し移動させる。

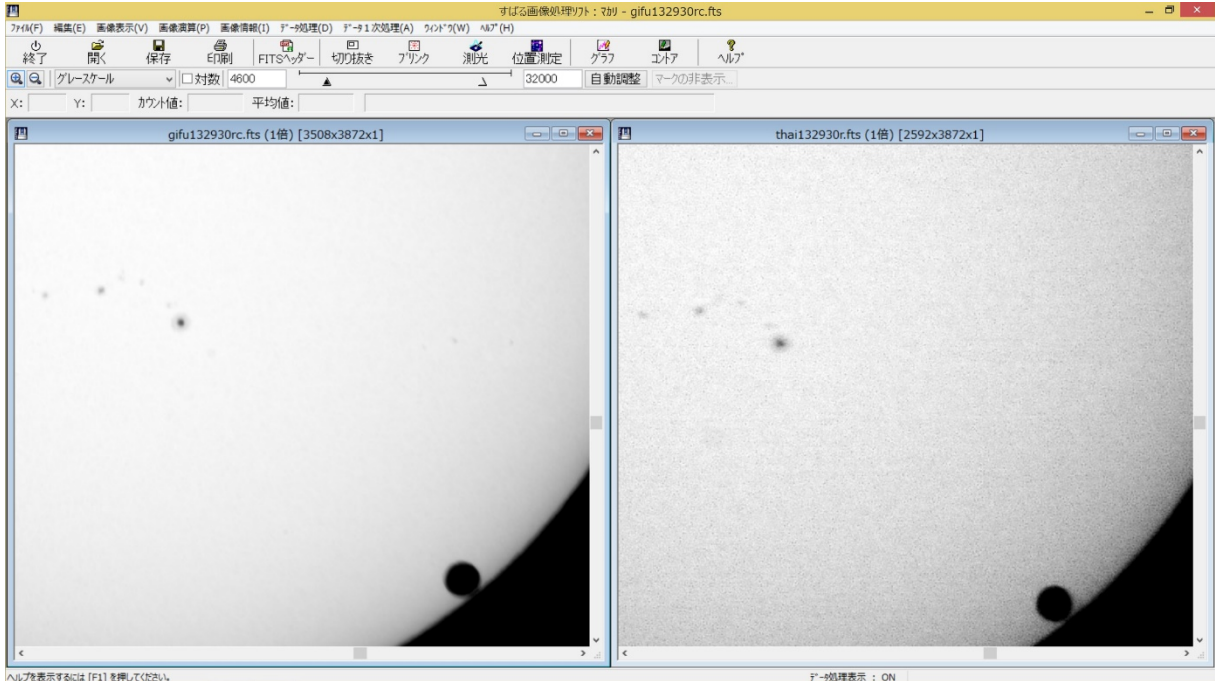


## 移動後に、バッチ処理でコンポジットの実行

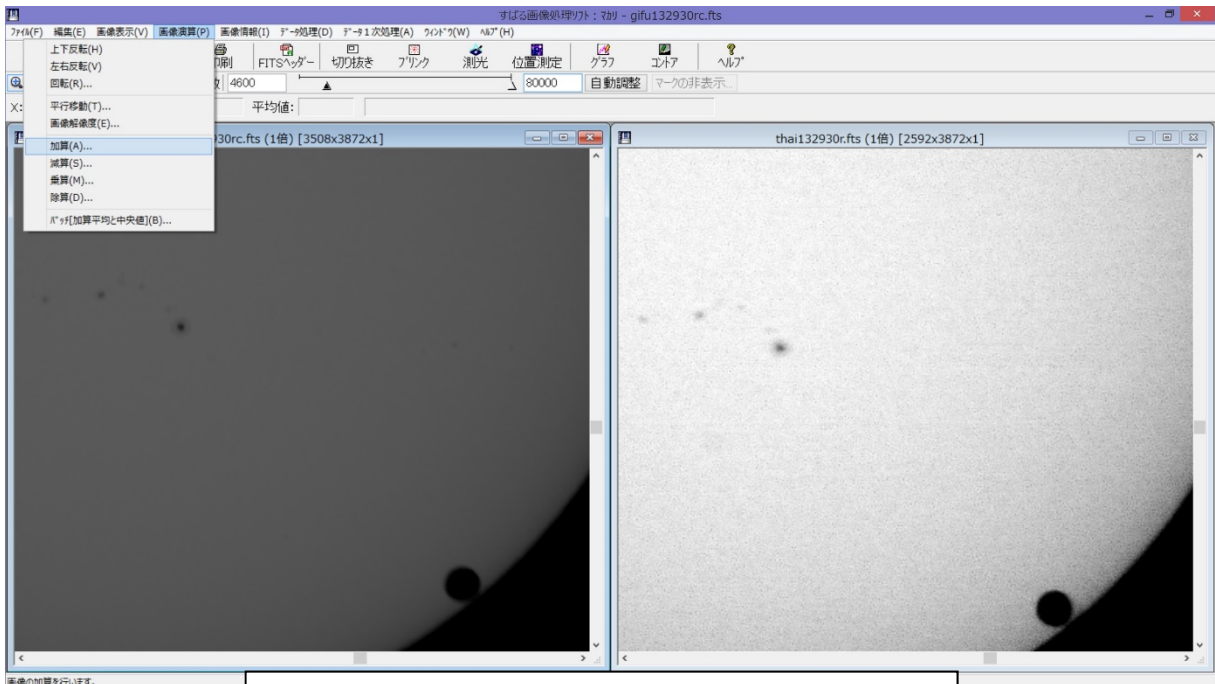


## コンポジットの方法2（画像演算のプレビューを見ながらそろえる）

コンポジットする2枚の画像を開く。



重ね合わせの加算をする場合は、カウント値が増加した状態のプレビューになるので、ベースになる画像の表示レベルを下げておく（減算、乗算、除算など場合に合わせ調整）。



ここでは岐阜の画像の表示レベルを下げています

プレビューを見ながら基準になる点（ここでは黒点）が一致するように移動させる。

